

# 宇城市 内水ハザードマップ

想定最大規模降雨 153.0mm/h

想定最大規模降雨は、近隣地域で観測された最大の降水量を基本として設定することとなり、宇城市では九州北西部地域で観測された最大1時間降水量153.0mmを設定しています。宇城市の既往最大1時間降水量は136mm(平成28年6月)です。

## 内水ハザードマップとは…

内水氾濫(降った雨が河川等に排水できずに用水路や側溝等からあふれる氾濫)した場合に浸水する範囲や浸水深を示したマップです。

→裏の地図面で詳細を確認してください。



## ① 大雨に備えて事前にやっておくこと

避難情報が発令された場合は、避難情報に従って避難行動をとることが大事です。特に、避難に時間を要する方はできるだけ早い段階で行動してください。いざというときに備えて、事前に内水ハザードマップを確認しておきましょう。裏の地図面で着色されている場所は浸水の可能性が高い場所ですので、大雨時には注意してください。着色されていない区域であっても、絶対に安全というわけではありません。詳しい内容は宇城市ホームページ(右記QRコード参照)に掲載しています。

宇城市のホームページにはこんなことを載せています

- 内水ハザードマップとは
- 内水ハザードマップの活用方法
- くまもとマイタイムラインの活用
- 宇城市情報メール、市公式LINEの登録方法
- 資料のダウンロード
  - 内水ハザードマップ(地図面、情報面)
  - Q&A

パソコンやスマートフォンから閲覧できますので、一度確認しましょう。

### ステップ1 内水ハザードマップの確認

自宅周辺の浸水深は0.3m以上ですか？  
これまでに内水で浸水したことはありますか？

はい

大雨時には内水による浸水が発生するおそれがあります。裏の地図面を活用し、避難先や避難ルートを確認しましょう。

いいえ

### 避難行動の目安



いいえ

### ステップ2 宇城市ハザードマップの確認

洪水の浸水区域内ですか？  
土砂災害(特別)警戒区域内ですか？

はい

大雨時には洪水や土砂災害が発生する可能性が高い場所です。避難する際には、裏の地図面も活用し、安全に避難できるルートを確認しましょう。

### 避難ルートの主な確認項目

- 浸水深0.3m以上の道路は通らない。
- 河川や水路の近くを通らない。
- 土砂災害の危険なエリアを通らない。



Webで計画を立てみよう



### ステップ3 災害時の避難計画を立てる

くまもとマイタイムラインを用いて、災害時の行動を計画立てておきましょう。

### ステップ4 防災情報の登録

大雨時には防災行政無線が聞き取れないおそれがあるため、市の防災情報配信先を登録しましょう。

宇城市情報メール

ukicity@gw.ansin-anzen.jp



宇城市公式LINE

https://page.line.me/dhi0608d



宇城市公式Twitter

https://twitter.com/uki\_bousai



## ② 大雨が降るとわかったら

### やること1 情報収集

インターネット、ラジオ、テレビ等でリアルタイムで正確な情報を入手することができますので、積極的に活用しましょう。

防災情報提供センター 検索

<https://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/index.html>

川の防災情報 検索

<https://www.river.go.jp/index>

### 雨の強さと降り方(1時間雨量)

|             | 10~20mm未満<br>やや強い雨 | 20~30mm未満<br>強い雨                       | 30~50mm未満<br>激しい雨  | 50~80mm未満<br>非常に激しい雨                             | 80mm以上<br>猛烈な雨                |
|-------------|--------------------|--|--------------------|--|-------------------------------|
| 1時間雨量と予報用語  |                    |  |                    |  |                               |
| 人の受けイメージ    | ●ザーザーと降る。          | ●どしゃ降り。                                | ●バケツをひっくり返したように降る。 | ●滝のように降る。(ゴーゴーと降り続く)                             | ●息苦しくなるような圧迫感がある。<br>●恐怖を感じる。 |
| 人への影響と屋外の様子 | ●地面からはね返りで足もとがぬれる。 | ●傘をさしていてもぬれる。<br>●車の場合、ワイパーを速くしても見づらい。 | ●道路が川のようになる。       | ●傘はまったく役に立たなくなる。<br>●水しぶきで、あたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。 |                               |

### やること2 避難の準備

- 避難所と避難ルートを再確認しましょう。
- 避難情報が発表されていなくても、危険を感じたら迷わず自主的に避難しましょう。
- 非常持ち出し品は事前に準備し、すぐに避難できるようにしておきましょう。
- 事前に作成したくまもとマイタイムラインをもとに行動しましょう。



### 避難の心得

|  |  |
|--|--|
| <p><b>火の元を確認する</b><br/>ガスの元栓や電気のブレーカーを止めてから避難しましょう。</p>                | <p><b>車での避難は控える</b><br/>車は約0.3mの浸水で走行困難となります。</p>                    |
| <p><b>単独行動は避ける</b><br/>動きやすい恰好で、できる限り二人以上で避難しましょう。</p>                 | <p><b>非常持ち出し品はコンパクトに</b><br/>非常持ち出し品はリュックにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。</p> |
| <p><b>無理な避難は避ける</b><br/>夜間や自宅周辺が浸水している場合は、自宅の二階以上等の高い場所へ垂直避難しましょう。</p> | <p><b>集団で助け合う</b><br/>一人で避難することが困難な方もいます。近所の人たちと助け合いながら避難しましょう。</p>  |